【授業科目】少子高齢社会論　　Issues on ageing society with fewer children

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
三田 泰雅	１年次 前　期	選　択	1	15	講　義			可

授業概要（内容と進め方）及び課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	授業概要／学生自身が資料と向き合い解釈することを通して授業内容の理解を深めることを目指す。またプレゼンテーションやディスカッションなどを行って理解した内容の深化と定着をはかる。 進め方／対面授業で行う。必要に応じてグループワークを実施する。 課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法／課題として毎回の小レポート提出を求める。次回の講義で全般的な講評をし、講義中に復習をする等、講義の質の向上にも活かしていく。
授業の位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー⑤「将来に向け看護を主体的に学び、人間として自己の成長に努め、専門職としてのキャリアの基礎を形成することができる」の達成に寄与している。
到達目標（履修者が到達すべき目標）	①　少子化や高齢化とは何か説明できる。 ②　少子化と高齢化の現状を説明できる。 ③　少子化と高齢化の背景を説明できる。
時間外学習に必要な内容・時間	講義中で扱う現代社会の諸問題について、歴史的社会的背景を調べてください。またその結果に基づいて、自分の考えを組み立てられるようになってください。（各60分） 政治・経済・社会に関する日々のニュースを必ずチェックすること。（各60分） ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習1時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。
授業計画	第1回　ガイダンス 　授業の位置づけ、内容、評価、進め方などについて説明します。 第2回　少子高齢社会とは 　少子化・高齢化の定義、少子化と高齢化の現状について学びます。 第3回　少子化のメカニズム 　少子化の要因とその社会的背景について学びます。 第4回　未婚化と少子社会 　未婚化につながる出会い・恋愛・結婚の現状について考えます。 第5回　少産化と少子社会 　日本社会における子育てをめぐる現状を考えます。 第6回　高齢社会の課題① 　高齢社会の政治的・経済的な課題について学びます。 第7回　高齢社会の課題② 　高齢社会の社会的な課題について学びます。 第8回　少子高齢社会のゆくえ 　少子化と高齢化による人口減少社会とその課題について考えます。 各回の内容は前後することがあります。
	全て 三田
評価方法 評価基準	平常点50%、定期試験50%
教科書	なし。必要に応じて資料を配布します。
参考書等	筒井淳也『仕事と家族』筑摩書房
学生への助言等	学生諸君の積極的な参加を期待します。